

6. 確実な避難を実施するための各種施策の推進

(幹事機関：静岡県)

●東海四県三市 津波対策に係る勉強会

平成24年度検討課題

「津波避難に関する施策」

- ・ 災害時要援護者の避難
- ・ 適切な情報提供
- ・ 災害時の心理について
- ・ 自動車での避難
- ・ 港内の従業者の避難

- ・ 避難対応を行う市町村にアンケート調査を平成24年8月に実施

調査対象：東海四県の沿岸市町村（58市町村）

最大クラスの津波の河川遡上により浸水の可能性がある内陸市町（19市町村）
計 77市町村

→市町村が抱える津波からの避難に関する問題点を抽出

- ・ 市町村のハード対策について調査

●アンケートの調査結果（ソフト的な課題）

津波避難に関する施策	問題
災害時要援護者の避難	要援護者名簿の作成が困難、避難支援者の確保等
適切な情報提供	住民、観光客への情報伝達方法等
災害時の心理について	防災情報の伝達、防災知識の不足等
自動車での避難	自動車利用時の避難ルール等
港内の従業者の避難	従業者への情報伝達方法、避難地の用地確保等

25km

50km

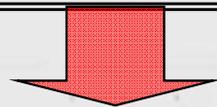
100km

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000、50000、25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平24情複、第356号）

自動車による津波避難について

○津波からの避難については、徒歩避難を原則として自動車による避難について以下の点について検討

- ①：自動車避難の検討をせざるを得ない地域、自動車避難が適さない地域の条件整理
- ②：自動車避難をせざるを得ない場合における道路利用ルールの整理
- ③：地震発生後の避難に向けた道路安全性の向上
- ④：通過交通や例外的に自動車避難を行う場合について各地域で明確化
- ⑤：津波避難時の自動車利用に関して、ドライバーを中心に普及啓発や教育



・各県市の公表する浸水想定を踏まえ引き続き施策の検討を実施する

